

資料2-1

項目			工事区分		A工事	B工事	C工事	備考
			負担区分	設計施工				
			財産帰属		福岡市交通局	福岡市交通局	店舗 店舗 店舗	
建 築	1	床					・全工事	-
	2	壁					・全工事	-
	3	天井					・全工事	-
	4	建具					・全工事	-
	5	その他					・全工事	-

※注意事項

- ・店舗内の壁及び天井は、下地材及び仕上げとも不燃材料としていただきます。
- ・床材料については、できる限り燃えにくい材料を使用していただきます。
- ・店舗内の什器等は、努めて不燃性のものを使用していただきます。
- ・カーテン、絨毯等は、防災物品を使用していただきます。

店舗工事区分表【区画番号3 博多駅筑紫口】

資料2-2

項目			工事区分	A工事	B工事	C工事	備考
			負担区分	福岡市交通局	店舗	店舗	
			設計施工	福岡市交通局	店舗	店舗	
			財産帰属	福岡市交通局	福岡市交通局	店舗	
空調換気	1	空調設備	/			・全工事	・室外機設置場所は交通局との協議により決定すること
	2	給気設備				・全工事	・給気は既設給気ダクト もしくは コンコースよりとること
	3	排気設備				・全工事	・においが無い排気の場合、コンコースへ排気することが可能 ・油脂を含む排気(厨房設備の排気)は基本的に循環換気方式とすること
給排水設備	4	給水設備				・なし	・給水設備は設置不可
	5	排水設備				・なし	・排水設備は設置不可

※注意事項

- ・空調・換気設備は事業者で設置してください。
- ・空調・換気設備は、駅防災盤との火報連動停止及び停止信号応答を行う設備を別途設置してください。
- ・厨房設備の設置においては、福岡市火災予防条例第3条の4の規定に適合する必要があります。

店舗工事区分表【区画番号3 博多駅筑紫口】

資料2-3

工事区分			A工事	B工事	C工事	備考
負担区分			福岡市交通局	店舗	店舗	
設計施工			福岡市交通局	店舗	店舗	
財産帰属			福岡市交通局	福岡市交通局	店舗	
項目						
防災	1	排煙設備		-	・なし	-
	2	スプリンクラー設備		・既設スプリンクラーから分岐し、必要に応じて増設	・なし	・既設スプリンクラーあり ・指定業者あり ・既設からの分岐で店舗内SPヘッドの放水量を確保できない場合は、分岐箇所を交通局と協議のうえ決定すること
	3	自火報防災盤設備		・煙感知器又は熱感知器を必要に応じ増設すること ・駅防災盤の改修、試験調整	・B工事以外の全工事 ・火報ベル設置(必要に応じて)	・所轄消防署へ着工届及び設置届出書を作成し提出すること。 ・防災設備業者メーカー指定有り ・駅防災盤表示名称とデータの変更必要有り ・防災関係の試験調整及び消防検査対応含む
	4	非常用照明		・なし	・なし	-
	5	誘導灯		・なし	・なし	-
	6	非常放送		・なし	・なし	-

※注意事項

- ・店舗内には消火器を設置していただきます。
- ・店舗内にBGM等に利用する音響設備を設ける場合は、既設非常放送装置と連動して音響装置の電源を自動的に制御するカットリレーの設置を行っていただきます。
- ・防災設備については、交通局と協議のうえ消防署への届け出等を行い、適切に設置していただきます。

店舗工事区分表【区画番号3 博多駅筑紫口】

資料2-4

項目	工事区分		A工事	B工事	C工事	備考
	負担区分		福岡市交通局	店舗	店舗	
	設計施工		福岡市交通局	店舗	店舗	
	財産帰属		福岡市交通局	福岡市交通局	店舗	
電気	1	天井照明			・全工事	
	2	コンセント			・全工事	
	3	幹線・分電盤(動力・電灯)			・全工事	・3相4線182/105V 50A ・電灯・動力の用途に合わせ変圧設備を用意すること ・変圧設備を設置する場合は、容量が20kWを超える場合は福岡市火災予防条例第11条の規定によること
	4	電力量計			・店舗区画内に検定付きの電力量計を設置	・変圧設備を設置する場合は、変圧設備の一次側に設置すること ・検定の証明、メータの開始値は写真等により記録し、提出すること
	5	電話・情報配線設備			・全工事	・天井内の配管配線はPF管とする
	6	テレビ共同受信設備			・全工事	・天井内の配管配線はPF管とする

※注意事項

- ・店舗の防火区画にかかるものにおいては法令に準じた工法で防火区画の貫通処理を行っていただきます。
- ・必要に応じて事業者が変圧設備を設ける等改修を行い、分電盤から電力負荷へ電源供給を行っていただきます。
- ・使用する材料については、安全が担保された製品を使用し、漏電に対する保護を行っていただきます。ケーブルはエコケーブル、変圧器はモールドタイプを使用していただきます。ただし、やむを得ない場合は交通局の指示に従ってください。